

平成27年度
沖縄県地域限定通訳案内士試験施行要領

平成27年6月1日
沖 縄 県

1 試験科目

(1) 筆記(第1次)試験

- ア 沖縄県の地理(選択方式)
- イ 沖縄県の歴史(選択方式)
- ウ 沖縄県の産業、経済、政治及び文化(選択方式)
- エ 外国語(記述式)

英語、中国語、韓国語のうち、受験者の選択する1カ国語

※通訳案内士試験(国家試験)と同一の出題とします。

※中国語を受験される方は受験願書申請の際、簡体字か繁体字を選択できます。

ただし選択後は変更できません。

(2) 口述(第2次)試験

通訳案内の実務(筆記試験で選択した外国語による通訳案内の現場で必要とされるコミュニケーションを図るための実践的な能力について判定。)

2 受験資格、試験場所、試験日時及び合格者の発表

	筆記(第1次)試験	口述(第2次)試験
受験資格	年齢、性別、学歴、国籍等に関係なく、だれでも受験できます。	筆記(第1次)試験に合格した者(筆記試験を免除される者を含む)
試験場所	沖縄県市町村自治会館 (那覇市旭町116-37) (※注1) 試験場所は変更する場合があります。受験票交付の際に通知しますのでご注意ください。 (※注2) 通訳案内士試験(国家試験)との併願者は、通訳案内士試験の会場で外国語試験を受験することとなります。	那覇市内 (試験場所は、筆記(第1次)試験の合格通知の際に、合格者に通知します。)
試験日時	①平成27年8月29日(土) ・沖縄県の地理 13時20分～14時00分 ・沖縄県の歴史 14時20分～15時00分 ・沖縄県の産業、経済、政治及び文化 15時20分～16時00分 ②平成27年8月30日(日) ・外国語 10時～12時 ※通訳案内士試験と同一日時	平成27年12月20日(日) (試験時間は、筆記(第1次)試験の合格通知の際に、合格者に通知します。)
合格発表(予定)	平成27年11月20日(金)(予定)	平成27年12月28日(月)

合否通知	下記掲示場所において合格者の受験番号を掲示するとともに、受験者全員に結果等を通知します。最終合格者には合格証書を交付します。 ※筆記試験合格者及び最終合格者の番号はインターネットでもご案内します。
合格者 掲示場所	沖縄県文化観光スポーツ部観光政策課（沖縄県庁舎8階） （那覇市泉崎1丁目2番2号）

3 受験手続

(1) 提出書類

- ア 地域限定通訳案内士試験受験願書（所定のものを使用して下さい。）
- イ 試験の一部免除を受けようとする方は次の書類
4の特例（試験の一部免除）の（2）のア～コに該当する書類

(2) 受験願書の受付期間及び申込方法

ア 受付期間

平成27年6月1日（月）から平成27年6月30日（火）まで

イ 申込方法

(ア) 郵送の場合

封筒の表に「地域限定通訳案内士試験受験願書在中」と朱書きし、「簡易書留」扱いで送付してください。

平成27年6月30日（火）までの消印があるものに限り、受け付けます。

<送付先>〒901-0152 沖縄県那覇市字小禄1831番地1
沖縄産業支援センター2階

（一財）沖縄観光コンベンションビューロー 国内事業部 受入推進課

(イ) 持参の場合

（一財）沖縄観光コンベンションビューロー国内事業部受入推進課（沖縄産業支援センター2階）に直接持参してください。

<受付時間>平日の午前9時から午後5時まで（12時から13時までを除く）
土曜日、日曜日は受付していません。

（注）身体障害者の方が受験を希望する場合は、試験場において補助などを必要とする場合がありますので、事務局まで必ず申し出て下さい。

(3) 受験手数料

受験手数料として、沖縄県収入証紙8,300円を受験願書の所定の場所に貼付してください。受験手数料は、受理した後は基本的に返還しません。

ア 沖縄県収入証紙の購入先

沖縄県収入証紙売りさばき所（琉球銀行、沖縄銀行、沖縄海邦銀行、コザ信用金庫等）で購入してください。収入印紙ではありませんので、ご注意ください。

（購入先はホームページを参照：「沖縄県証紙について」で検索

<http://www.pref.okinawa.jp/site/suito/kaikei/kokuhi/kensyoushiurisabakisyo.html>）

(4) 受験票の交付

ア 受験願書が完備し、かつ、受験手数料を納めた方に対して、8月中旬以降、受験票を発送します。

イ 8月20日になっても受験票が届かない場合は、必ず（一財）沖縄観光コンベンションビューロー国内事業部受入推進課に電話で照会して下さい。電話：098-859-6129

4 特例（試験の一部免除）

（1）平成27年度に適用される試験の一部免除は、次のとおりです。

- ア 平成26年度沖縄県地域限定通訳案内士試験の筆記（第1次）試験に合格し、口述（第2次）試験に不合格または口述（第2次）試験を未受験の方は、願いにより、平成27年度の筆記（第1次）試験（外国語は同一言語のみ）を免除します。
- イ 沖縄県地域限定通訳案内士試験に合格した方が、他の外国語による試験を受験する場合は、願いにより、外国語以外の科目の筆記（第1次）試験を免除します。
- ウ 平成26年度沖縄県地域限定通訳案内士試験の筆記（第1次）試験のうち、一部の科目について合格基準点に達した方は、願いにより、平成27年度の当該科目（外国語は同一言語のみ）の筆記（第1次）試験を免除します。
- エ 通訳案内士試験に合格した方が、同一の外国語による沖縄県地域限定通訳案内士試験を受験する場合は、願いにより、外国語の筆記（第1次）試験を免除します。
- オ 平成26年度通訳案内士試験の外国語筆記（第1次）試験について合格基準点に達した方が、同一の外国語による沖縄県地域限定通訳案内士試験を受験する場合は、願いにより、平成27年度の外国語の筆記（第1次）試験を免除します。
- カ 沖縄県以外の地域限定通訳案内士試験に合格した方が、同一の外国語による沖縄県地域限定通訳案内士試験を受験する場合は、願いにより、外国語の筆記（第1次）試験を免除します。
- キ 公益財団法人日本英語検定協会が実施する実用英語技能検定の1級に合格した方が、英語による沖縄県地域限定通訳案内士試験を受験する場合は、願いにより、外国語（英語に限る）の筆記（第1次）試験を免除します。
- ク Educational Testing Serviceが制作するTOEICテストの公開テストについて840点以上、TOEICスピーキングテストの公開テストについて150点以上又はTOEICライティングテストの公開テストについて160点以上を得た方が、英語による沖縄県地域限定通訳案内士試験を受験する場合は、願いにより、外国語（英語に限る）の筆記（第1次）試験を免除します。
※公式認定証は、日本以外の国が発行したものでも有効です。いずれもIPテストは除きます。IPテストにはInstitutional Programと記載されています。
- ケ 一般財団法人日本中国語検定協会が実施する中国語検定試験の1級に合格した方が、中国語による沖縄県地域限定通訳案内士試験を受験する場合は、願いにより、外国語（中国語に限る）の筆記（第1次）試験を免除します。
- コ 特定非営利活動法人ハングル能力検定協会が実施する「ハングル」能力検定試験の1級に合格した方が、韓国語による沖縄県地域限定通訳案内士試験を受験する場合は、願いにより、外国語（韓国語に限る）の筆記（第1次）試験を免除します。

（2）免除の手続方法及び受験願書の記入要領

上記（1）のア～コまでの免除を受けようとする方は、受験願書に以下によりその旨を記載し、特例に該当することを証する書面を必ず添付してください。なお、合格又は受験当時と氏名が変わっている場合には、当時の氏名を記入し、戸籍抄本等氏名の変更を証明する書類を同封してください。

- ア 上記（1）のアの免除を受けようとする方は、受験願書の〔特例〕の欄に、特例の該当項目記号及び免除科目番号に○を付し、受験番号及び受験年度を記入し、合格基準点に達したことを証する書面の写しを同封してください。
- イ 上記（1）のイの免除を受けようとする方は、受験願書の〔特例〕の欄に、特例の該当項目記号及び免除科目番号に○を付し、合格番号及び合格年度を記入し、合格証

書の写しを同封してください。

ウ 上記（１）のウの免除を受けようとする方は、受験願書の〔特例〕の欄に、特例の該当項目記号及び免除科目番号に○を付し、受験番号及び受験年度を記入し、合格基準点に達したことを証する書面の写しを同封してください。

エ 上記（１）のエの免除を受けようとする方は、受験願書の〔特例〕の欄に、特例の該当項目記号及び免除科目番号に○を付し、合格番号及び合格年度を記入し、合格証書の写しを同封してください。

オ 上記（１）のオの免除を受けようとする方は、受験願書の〔特例〕の欄に、特例の該当項目記号及び免除科目番号に○を付し、受験番号及び受験年度を記入し、合格基準点に達したことを証する書面の写しを同封してください。

カ 上記（１）のカの免除を受けようとする方は、受験願書の〔特例〕の欄に、特例の該当項目記号及び免除科目番号に○を付し、合格番号及び合格年度を記入し、合格証書の写しを同封してください。

キ 上記（１）のキの免除を受けようとする方は、受験願書の〔特例〕の欄に、特例の該当項目記号及び免除科目番号に○を付し、合格番号及び合格年度を記入し、合格証明書（和文・写し）を同封してください。

ク 上記（１）のクの免除を受けようとする方は、受験願書の〔特例〕の欄に、特例の該当項目記号及び免除科目番号に○を付し、受験年度を記入し、基準点に達したことを証する書面の写しを同封してください。

ケ 上記（１）のケの免除を受けようとする方は、受験願書の〔特例〕の欄に、特例の該当項目記号及び免除科目番号に○を付し、合格番号及び合格年度を記入し、合格証明書（和文・写し）を同封してください。

コ 上記（１）のコの免除を受けようとする方は、受験願書の〔特例〕の欄に、特例の該当項目記号及び免除科目番号に○を付し、合格番号及び合格年度を記入し、合格証明書（和文・写し）を同封してください。

5 指定テキスト

（１）筆記（第１次）試験の「沖縄県の地理」、「沖縄県の歴史」、「沖縄県の産業、経済、政治及び文化」については、「うちなー観光教本（（一財）沖縄観光コンベンションビューロー発行第６版（平成２７年６月発行）」をベースとして出題します。

（２）テキストの入手方法

「うちなー観光教本」（（一財）沖縄観光コンベンションビューロー発行）販売所にて別途チラシ及び（一財）沖縄観光コンベンションビューローのホームページをご覧ください。

【通訳案内士試験を併願する方へ】

通訳案内士試験を併願する場合、別途、独立行政法人国際観光振興機構に受験手続きをする必要があります。

外国語筆記（第１次）試験は、通訳案内士試験の試験会場で受験することになりますので、間違えのないように注意してください。

【注 意 事 項】

1 受験願書等の記入上の注意事項

- (1) 受験願書等は、青または黒インク（ボールペン可）を用い、かい書でていねいに記入して下さい。判読不能な文字等が記入されている場合は、受付できないことがあります。（※印の箇所には記入しないこと）
- (2) 数字は算用数字を用いて下さい。
- (3) 生年月日欄には、西暦（例：1972年5月15日）で記入して下さい。
- (4) 本籍・国籍、氏名、生年月日は以下の表に従って記入して下さい。（これらの事項の記入内容に誤りがあると、沖縄県知事の登録を受けることができない場合があります）

	本籍・国籍	氏 名	生年月日
日本国籍の 日本在住者	日本語・都道府県名 (戸籍のとおり)	日本語（戸籍のとおり）	日本語・西暦（戸籍のとおり）
外国籍の 日本在住者	日本語・国名（外国人 登録証明書、在留カードのとおり）	日本語等（外国人登録証明書、在留カードのとおり）	日本語・西暦（外国人登録証明書、在留カードのとおり）
日本国籍及び外国 籍の外国在住者	国名（パスポートのとおり）	アルファベット（パスポートのとおり）	日本語・西暦（パスポートのとおり）

- (5) 現住所欄には、日本在住者は住民票、又は外国人登録証明書どおりに（都道府県名も入れること）、外国在住者はパスポートどおりに現住所（国名も）を記入して下さい。
- (6) 受験願書には押印いただくことになっていますが、氏名を自署した場合には押印を省くことができます。
- (7) 受験整理票に通訳案内士試験（国家試験）との併願の有無について必ず記入して下さい。（該当する数字を○で囲んでください。）
- (8) 受験整理票の「受験票送付・合否通知先」欄には必ず日本国内の住所もしくは連絡先を、また「緊急連絡先」欄には日中連絡可能な場所（勤務先等）をご記入下さい。
- (9) 中国語を受験される方は、受験外国語記入欄（3ヶ所あります）の右余白部分に簡体字か繁体字のいずれかを記入して下さい。
- (10) 下表を参照の上、受験整理票の最終学歴・職業欄の該当する番号を1つ○で囲んでください。

番号	学 歴
1	大学(院) 在学
2	大学(院) 卒業
3	大学(院) 中退
4	短期大学卒業
5	高 校 卒 業
6	そ の 他

番号	職 業
1	学 生
2	会 社 員
3	公務員・団体職員
4	教職員及び塾講師
5	翻 訳 ・ 通 訳
6	専 門 職
7	主 婦
8	無 職
9	そ の 他

- (11) 写真票に貼付する写真は、カラーまたは白黒（スピード写真可）、縦5cm×横5cmで最近6ヶ月以内に撮影した、無帽、上半身、正面、無背景で本人と確認できるもの（受験時に眼鏡を使用する者は、眼鏡をかけて撮影したもの）とし、写真の裏に住所、氏名

を記入して下さい。なお、スナップ写真、写真が不鮮明なもの及び小さいもの等不適当なものは受け付けられません。

(12) 以上の記載及び写真等添付資料に不備があった場合、願書は受理できません。

2 郵送、照会等についての注意事項

- (1) 受験願書に記入された住所などを変更したときは、氏名等を記載し、その都度書面でその旨を届けて下さい。(住所変更の連絡がないと、受験票や合否通知票が届かない恐れがあります。)
- (2) 受験票が届いた時点で、受験番号が記載されているか、受験外国語、試験を免除される科目に誤りがないか確認してください。
- (3) 受験票は、筆記(第1次)試験、口述(第2次)試験ともに、試験当日に必要となります。最終合格発表まで大切に保管してください。
- (4) 願書受付場所、試験場及び試験日を変更することがありますので、ご注意下さい。
- (5) 試験の得点に関する問い合わせにはお答えできません。
- (6) 電話による合否の照会にはお答えできません。
- (7) 試験及び試験場に関する照会は、(一財)沖縄観光コンベンションビューロー国内事業部受入推進課へお願いします。試験会場に直接電話等で照会することは、固くお断りいたします。

3 試験場での注意事項

- (1) 筆記(第1次)試験、口述(第2次)試験とも、**試験当日は受験票を必ず所持して下さい。受験票を所持していない方は受験できません。**
- (2) 筆記(第1次)試験の(ア)沖縄県の地理、(イ)沖縄県の歴史、(ウ)沖縄県の産業、経済、政治及び文化は選択方式による試験です。解答の際には、必ず「黒鉛筆(HB、B)」を使用し、数字は算用数字を用いてはつきりと記入して下さい。分かりづらい場合は採点できない場合があります。消しゴムは「プラスチック製の消しゴム」を使用して下さい(砂消しゴム不可)。
解答用紙の所定欄に受験地、受験番号、氏名等を監督者の指示に従い、記入事項を記入して下さい。受験番号が正しく記入されていない場合は、採点できません。
- (3) 受験票、筆記用具(鉛筆またはシャープペンシル及び消しゴム等)、時計(計時機能だけのもの)以外の物は、机の上に置いてはいけません。バッグ等にしまっておいて下さい。なお、携帯電話・PHS、ポケベルなど通信機能がある物は、試験室に入る前に電源を切って下さい。
- (4) 試験室に時計がない場合もありますのでご注意下さい。
- (5) **試験開始後の試験場への入室は、原則として認めません。**

合格後の手続きについて

- ・試験の最終合格者が沖縄県地域限定通訳案内士の業務を開始するには、沖縄県知事に登録申請書を提出して登録を受ける必要があります。(登録手数料 5,100円)
- ・外国在住の合格者については、沖縄県在住の代理人を定めて代理人の住所地に登録申請することとなります。この代理人になれるのは、日常的に通訳ガイドとしての手配を行い、又は登録が行われることを条件に手配を行うことを予定しており、合格者と手配契約(条件付のものを含む。)を結んでいる者(個人、あるいは法人)です。
- ・外国在住の合格者が登録申請をする際には、代理人も同伴のうえ、申請してください。
- ・詳しくは、合格後、沖縄県文化観光スポーツ部観光政策課にお尋ねください。

試験実施の延期または中止について

- ・台風等の自然災害の発生により、試験実施を延期または中止する場合があります。
- ・延期となった場合の時間・場所はおって通知します。

「沖縄県地域限定通訳案内士試験」に関する問い合わせ先

(一財)沖縄観光コンベンションビューロー 国内事業部 受入推進課
〒901-0152 沖縄県那覇市字小禄1831番地1 沖縄産業支援センター2階
電話 098-859-6129 / FAX 098-859-6221
沖縄県のホームページでもご案内しています。

URL <http://www.pref.okinawa.jp/site/bunka-sports/kankoseisaku/index.html>

受験願書等記入例

P2～P6をよく読んで記入してください。

例：受験外国語・中国語 ※中国語の受験者は簡体字か繁体字を選択し、記入してください。

地域限定通訳案内士試験受験願書
(受験願)

平成00年 6月 1日

沖縄県知事 殿

現住所 沖縄県那覇市泉崎〇-△-×

フリガナ オキナワ タロウ

氏名 沖縄 太郎 印

下記により地域限定通訳案内士試験を受験したいので
お願いします。

受験外国語 中国語 繁体字

[特例]特例該当者は、施行要領に従って記入してください。

特例項目	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	コ
免除科目	1 沖縄県の地理		2 沖縄県の歴史		3 沖縄県の産業、経済、政治及び文化		4 外国語		
合格番号又は受験番号	〇E××××								
合格年度又は受験年度	平成26								
当時の氏名									

注 氏名を記載し、押印することに代えて、
署名することができます。

沖縄県収入証紙貼付欄

(受験整理票)

※受験番号

受験外国語 中国語 繁体字

通訳案内士試験との併願の有無(該当する番号を○で囲んで下さい)

① 通訳案内士試験を併願する。
② 通訳案内士試験を受験しない。

フリガナ オキナワ タロウ

氏名 沖縄 太郎

性別 男 女 生年(西暦)1972年 5月 15日生
月日(年組)(年齢:満 43歳)

本籍(本籍地) 沖縄県

現住所 沖縄県那覇市泉崎〇-△-×

郵便番号 900-×××× 電話番号(098) 〇〇〇-××××
×××× 〇〇〇〇 〇×××.06.jp

試験申込(言語通訳) 都道府県 沖縄県 性別 男
(都道府県と異なる場合は記入)

郵便番号 電話番号() -

試験申込(通訳) 都道府県 沖縄県 性別 男
(都道府県と異なる場合は記入)

郵便番号 電話番号() -

旅行要領に従って、該当する番号を○で囲んで下さい。

合格年組 ① 2 3 4 5 6
西 暦 1 ② 2 4 5 6 7 8 9

[特例]

特例項目	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	コ
免除科目	1 沖縄県の地理		2 沖縄県の歴史		3 沖縄県の産業、経済、政治及び文化		4 外国語		
合格番号又は受験番号	〇E××××								
合格年度又は受験年度	平成26								
当時の氏名									

注 ※印欄には記入しないで。

(写真票)

※受験番号

受験外国語 中国語 繁体字

写 真

次のような写真に、のり付
けて貼ってください。

- 1 縦9cm、横5cm
- 2 撮影6ヶ月以内に撮影し
たもの
- 3 顔は上半身、正面、肩背線
がわかるもの
- 4 裏面に氏名、住所、氏名を記入
したもの

(2015年5月撮影)

フリガナ オキナワ タロウ

氏名 沖縄 太郎

生年月日 1972年 5月 15日 (年齢満 43歳)

注 ※印欄には記入しないで。

特例 (試験の一部免除)

例：昨年度英語で受験。筆記(第1次)試験の「沖縄県の地理」と「沖縄県の歴史」が合格点を得たので、今年度はこれら科目の筆記(第1次)試験を免除申請する場合

注：申請がないと筆記(第1次)試験の免除は出来ませんのでご注意ください。

地域限定通訳案内士試験受験願書
(受験願)

平成00年 6月 1日

沖縄県知事 殿

現住所 沖縄県那覇市泉崎〇-△-×

フリガナ オキナワ タロウ

氏名 沖縄 太郎 印

下記により地域限定通訳案内士試験を受験したいので
お願いします。

受験外国語 中国語 繁体字

[特例]特例該当者は、施行要領に従って記入してください。

特例項目	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	コ
免除科目	① 沖縄県の地理		② 沖縄県の歴史		3 沖縄県の産業、経済、政治及び文化		4 外国語		
合格番号又は受験番号	〇E××××								
合格年度又は受験年度	平成26								
当時の氏名									

注 氏名を記載し、押印することに代えて、
署名することができます。

沖縄県収入証紙貼付欄

該当する特例項目に○をつけてください。

筆記試験の免除申請をする科目に○をつけてください。

受験番号、受験年度を記入してください。

受験当時と氏名が変わっている場合は
当時の氏名を記入してください。

第1次試験試験場へのアクセス

○沖縄県市町村自治会館
那覇市旭町116-37



○那覇空港発

- モノレール那覇空港駅より旭橋駅
(那覇バスターミナル) 下車 徒歩5分
(所要時間：11分 料金：260円)

○中北部より受験される方

- 那覇バスターミナル下車、徒歩5分



○お車で来られる方

- カーナ旭橋パーキング
(162台収容/ 最初の1時間まで150円
1時間以降30毎 100円)